

川岸地区山林火災復旧事業説明会 及び第 5 回新倉山復旧協議会次第

日時：平成 29 年 6 月 20 日（火）19：00～

場所：川岸支所 2 階講堂

1 開会

2 挨拶

3 内容

(1) 復旧事業説明会

・林業専用道大洞線について（資料①）

・治山事業について（資料②）

(2) 復旧協議会

(ア) 28 年度、29 年度復旧事業について（資料③-1、③-2）

(イ) 復旧方針について

①樹種の選択（資料④-1、④-2）

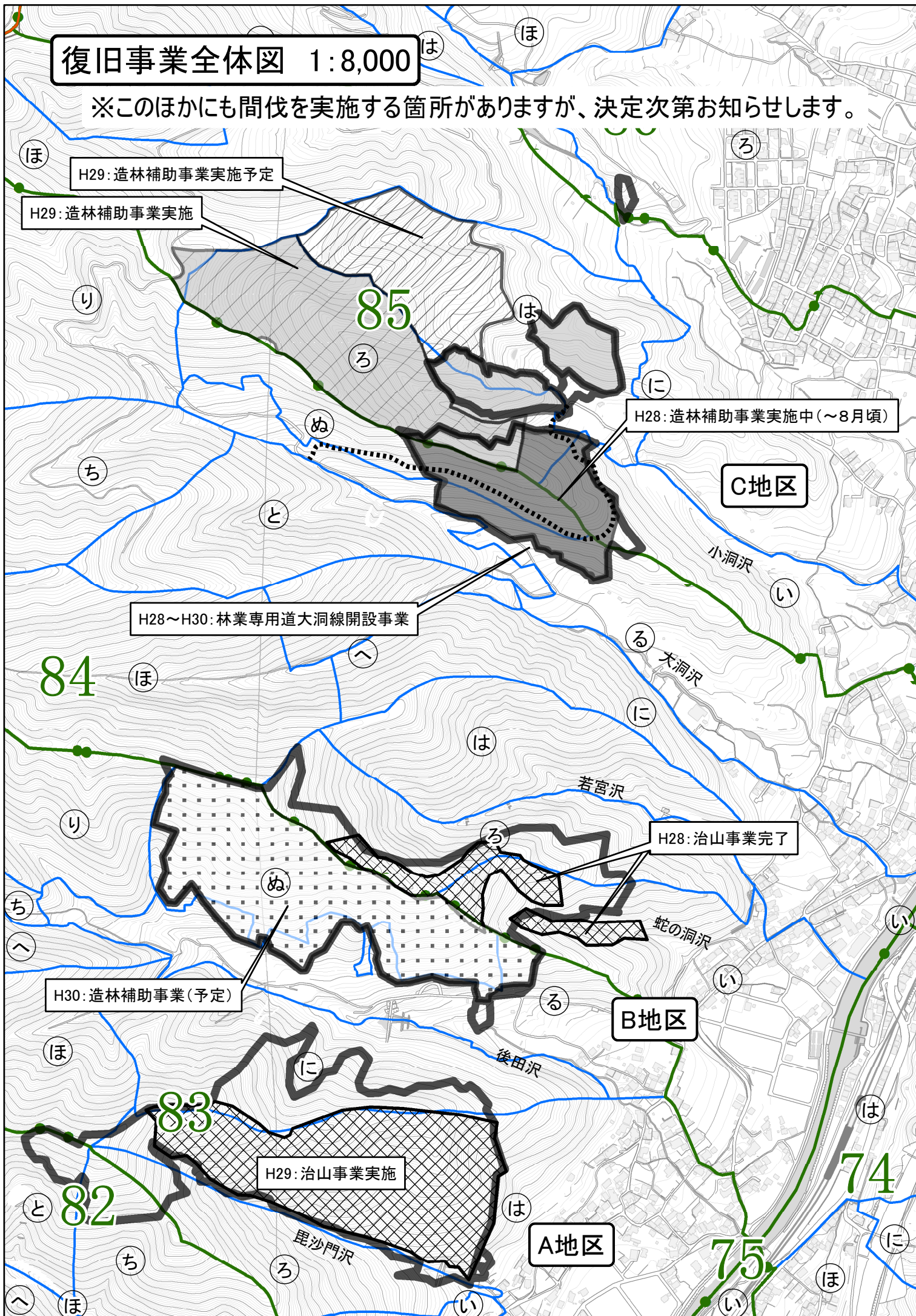
②施業者の選択（資料⑤-1、⑤-2）

4 その他

5 閉会

復旧事業全体図 1:8,000

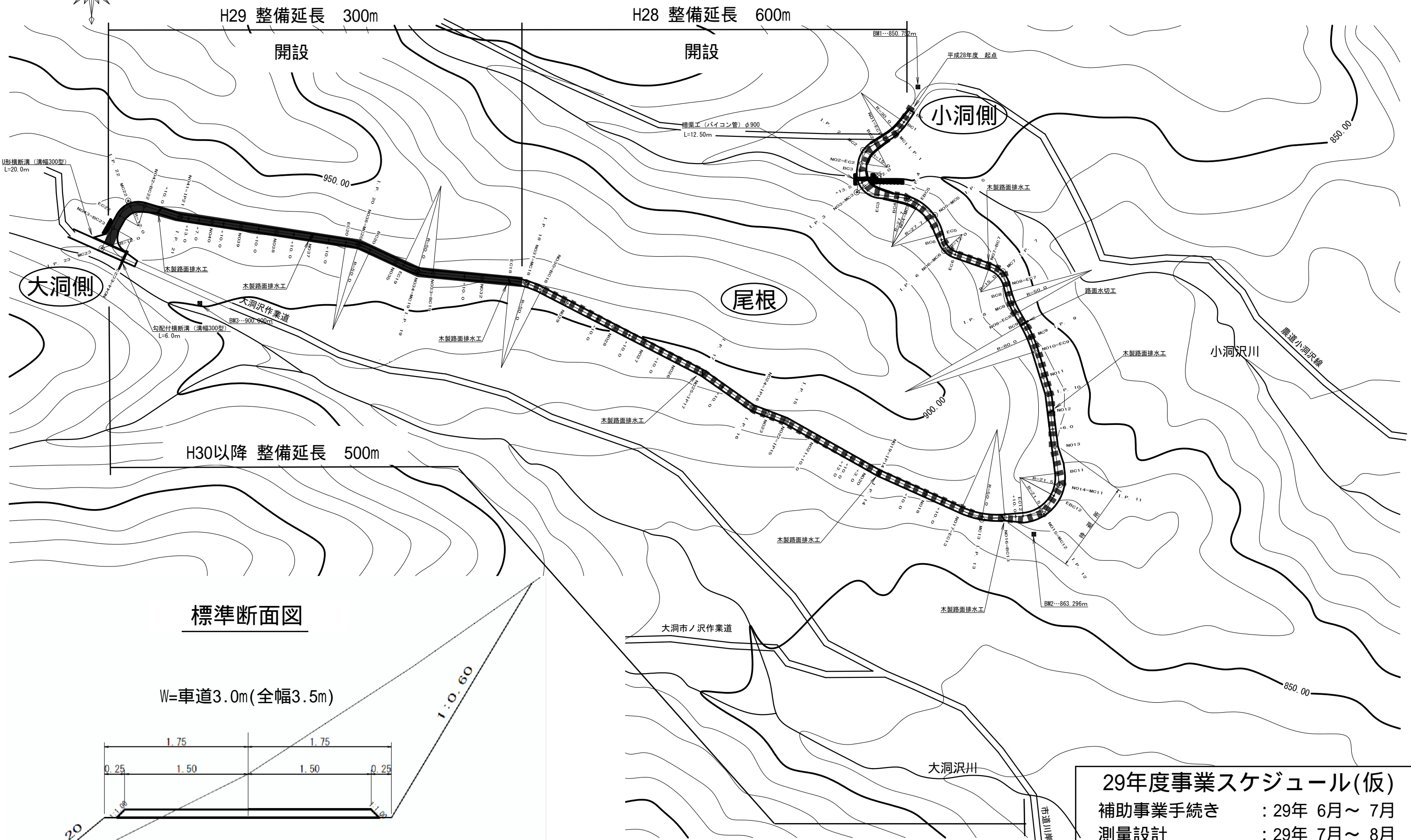
※このほかにも間伐を実施する箇所がありますが、決定次第お知らせします。



平成29年度 林業専用道 大洞線 整備事業について

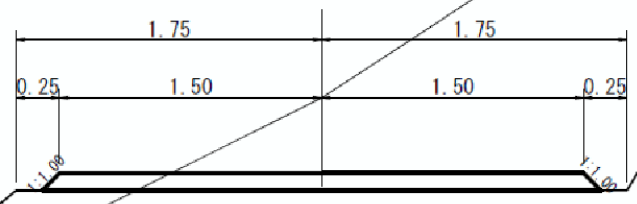
資料

平面図

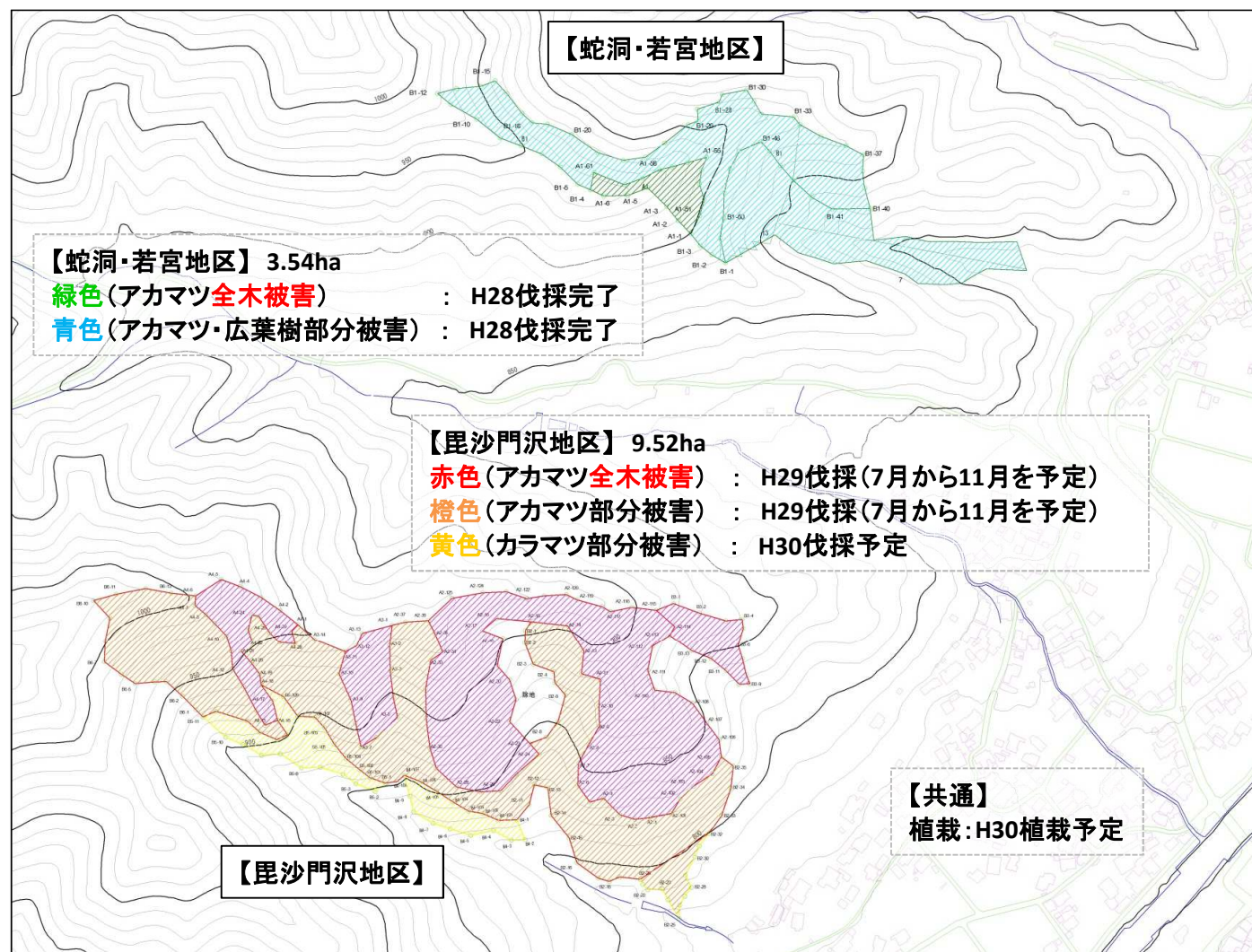


標準断面図

W=車道3.0m(全幅3.5m)



補助事業手続き	: 29年 6月～ 7月
測量設計	: 29年 7月～ 8月
工事発注、業者決定	: 29年 8月～ 9月
工事期間	: 29年10月～30年3月



今後の伐採作業予定

地区	樹種・被害区分	面積	現在の木数	整備内容	伐採の程度
毘沙門沢	アカマツ(全木被害)	4.09ha	枯損 1,080本/ha 生存 0本/ha	枯損木の伐採を行います。	伐採木 1,080本/ha 残存木 0本/ha
	アカマツ(部分被害)	4.75ha	枯損 230本/ha 生存 800本/ha	枯損木の伐採を行います。現時点で生存しているも、衰弱しているアカマツは伐採します。	伐採木 490本/ha 残存木 540本/ha
	カラマツ(部分被害)	0.68ha	枯損 650本/ha 生存 800本/ha	枯損木の伐採を行います。現時点で生存しているも、衰弱しているカラマツは伐採します。	伐採木 900本/ha 残存木 550本/ha

※ 伐採木は数m程度に玉切りし、ある程度まとめて集積します。集積の際は、杭を打つなどして、流出を防止します。

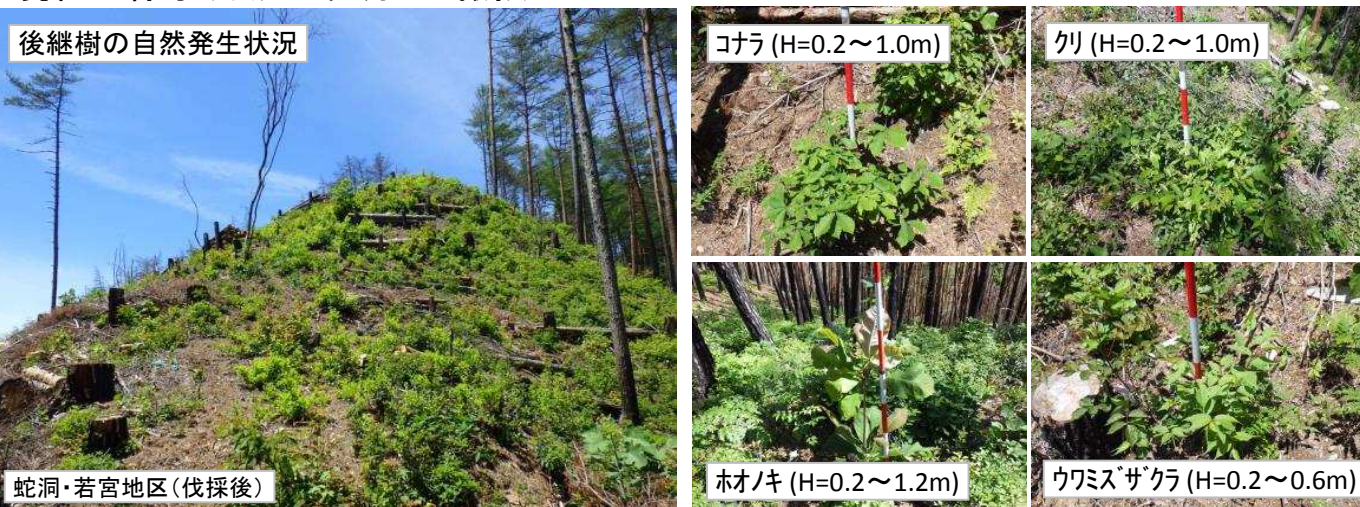
【現状】

- 日当たりの良い斜面(尾根付近、南向き斜面など)では、自然に後継樹が生え始めている。(コナラ、ミズナラ、クリ、ホオノキ、アカマツ、ウリカエデ、ウワミズザクラ、リョウブ、タラノキなど)
- 一方で、日当たりの良い斜面でも土壌が未熟な箇所、東向き斜面、斜面下部の窪地形などでは、後継樹の自然発生が少なかったり、草のみ(ワラビ、ススキ)で覆われている箇所がある。

【将来的な森林化】(案)

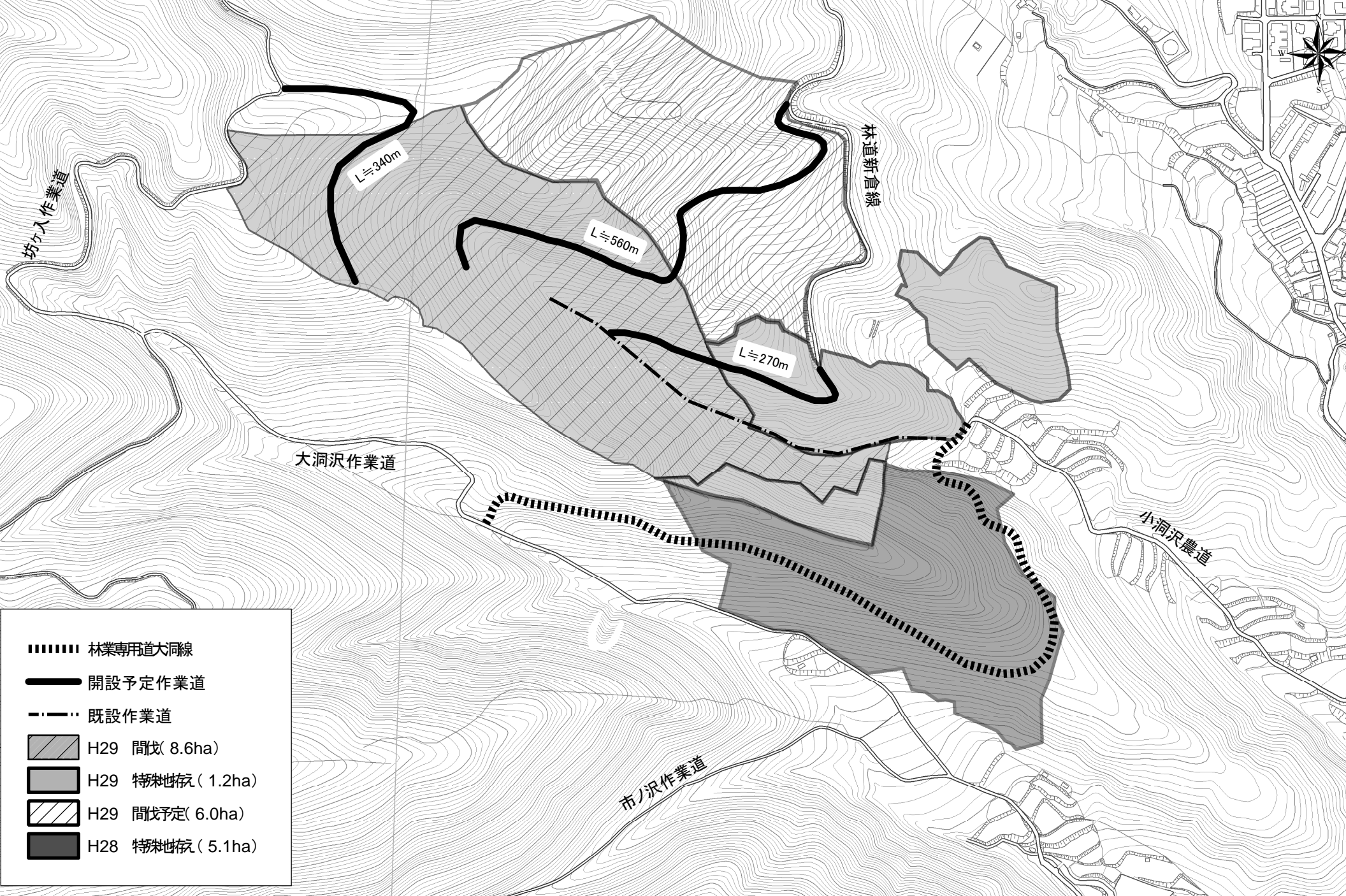
- 自然発生した後継樹を活かし、その場に適合した強い森林へ育てていく。
- 後継樹の自然発生が少ない箇所では、その場に合った樹種を選んで植栽する。(尾根付近:アカマツなど 斜面下部～中腹部:コナラなど 水分の多い箇所:ケヤキ、スギなど)
- すみやかに森林化するように、必要に応じて再度治山事業(下刈・除伐等)を行って育てていく。

現在の様子(平成29年6月12日撮影)



平成28年度・29年度 新倉山復旧協議会 事業箇所図

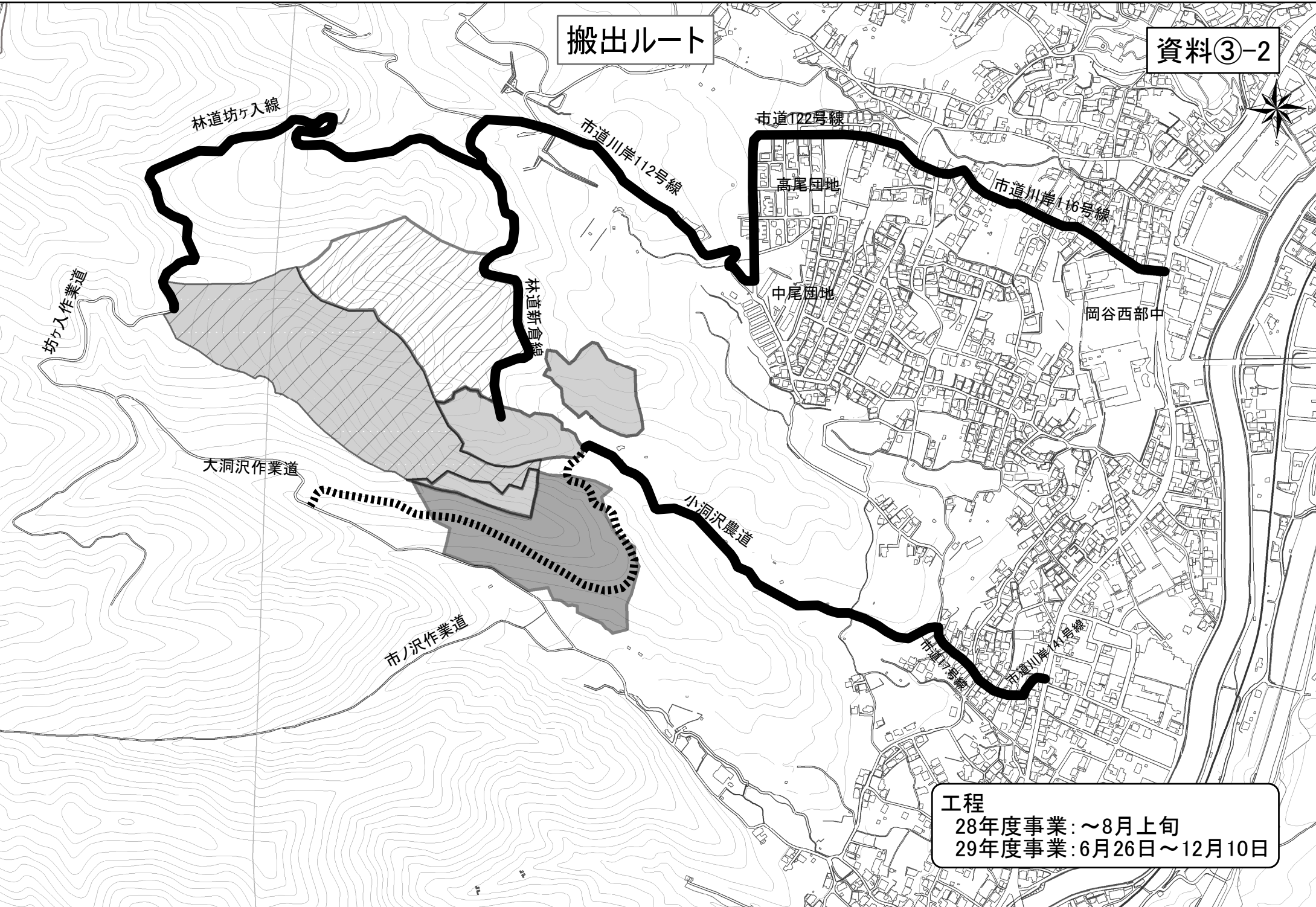
資料③-1



- 林業専用道大河線
- 開設予定作業道
- - - 既設作業道
- ▨ H29 間伐 (8.6ha)
- ▩ H29 特殊地積 (1.2ha)
- ▧ H29 間伐予定 (6.0ha)
- H28 特殊地積 (5.1ha)

搬出ルート

資料③-2

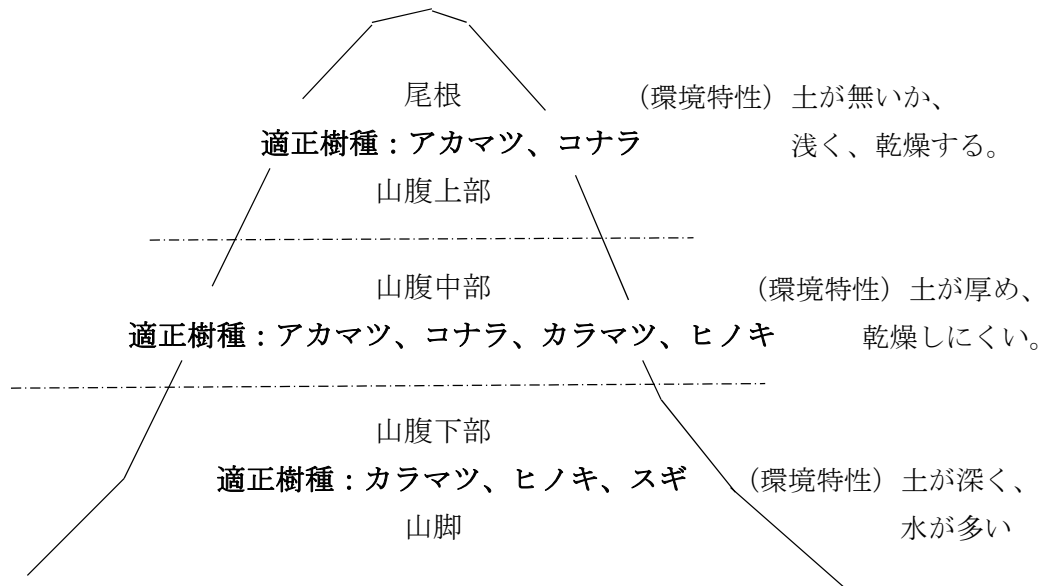


工程
28年度事業：～8月上旬
29年度事業：6月26日～12月10日

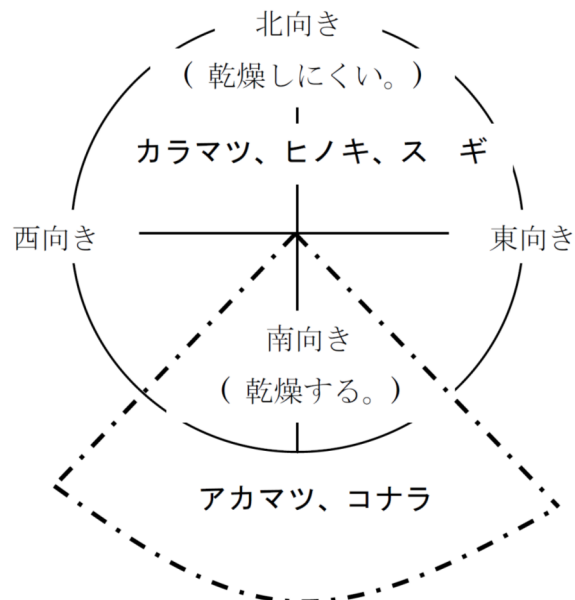
(イ) 復旧方針について (樹種の選択)

資料④-1

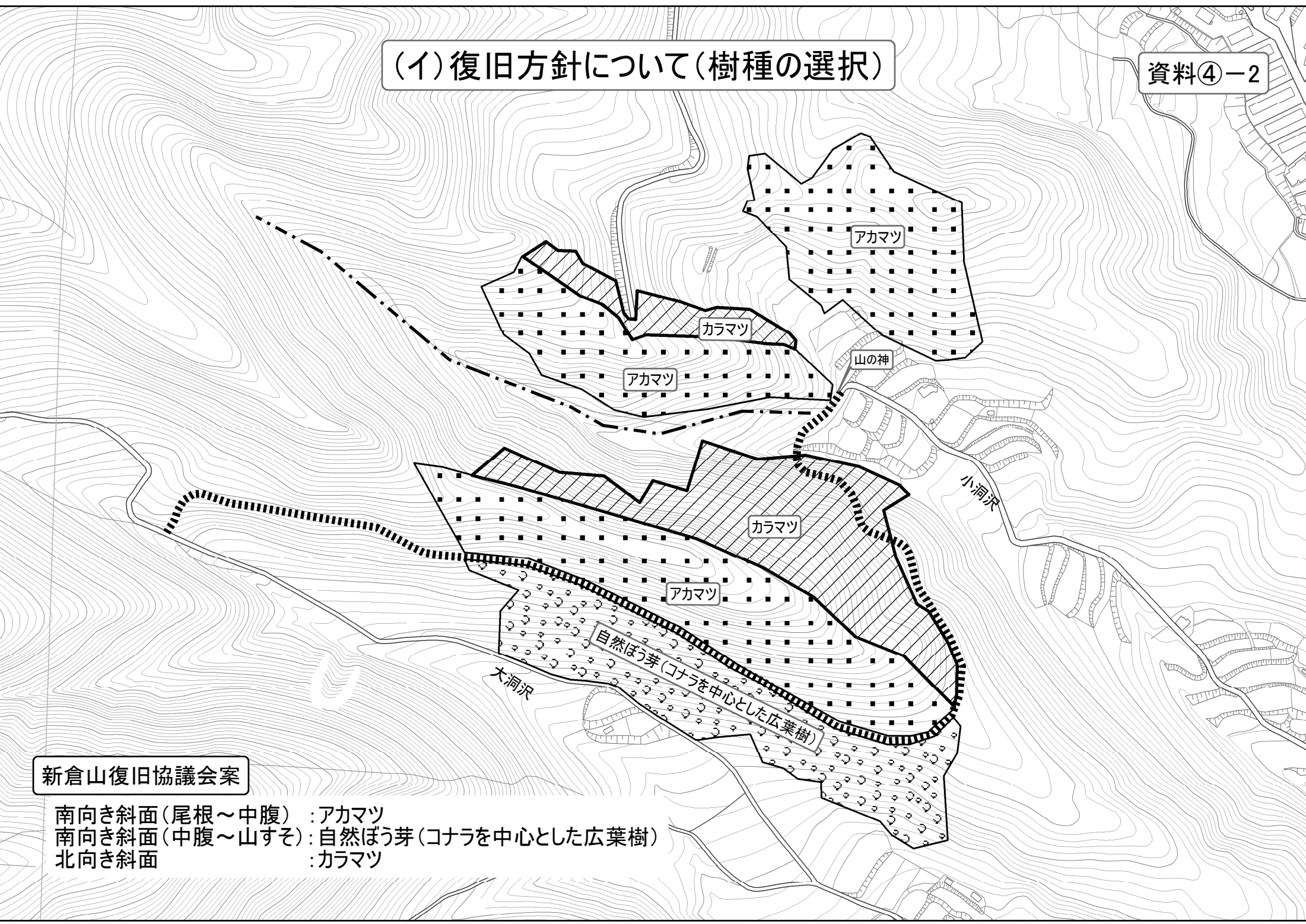
・山腹位置と適正樹種



・山腹方位 (山の向き) と適正樹種



(イ) 復旧方針について(樹種の選択)

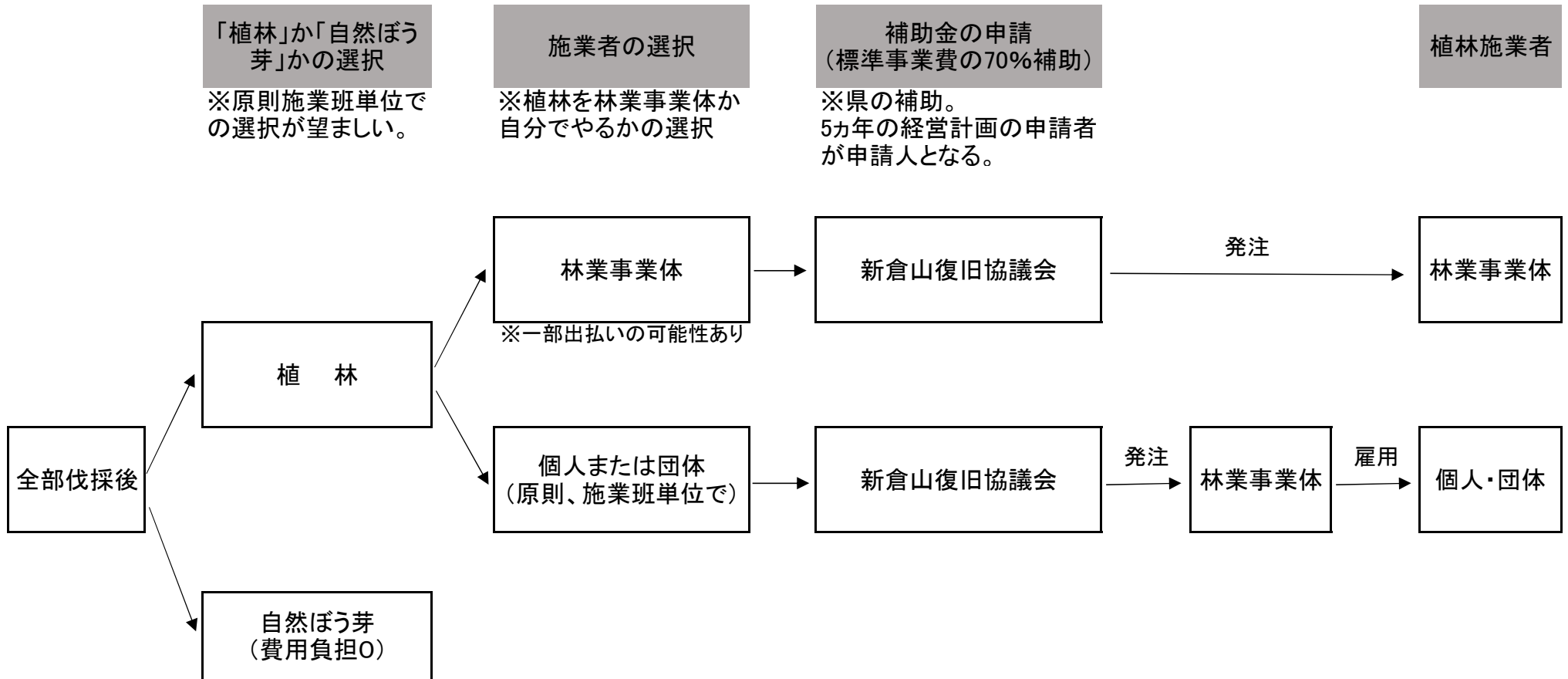


新倉山復旧協議会案

- 南向き斜面(尾根～中腹) : アカマツ
- 南向き斜面(中腹～山すそ) : 自然ぼう芽(コナラを中心とした広葉樹)
- 北向き斜面 : カラマツ

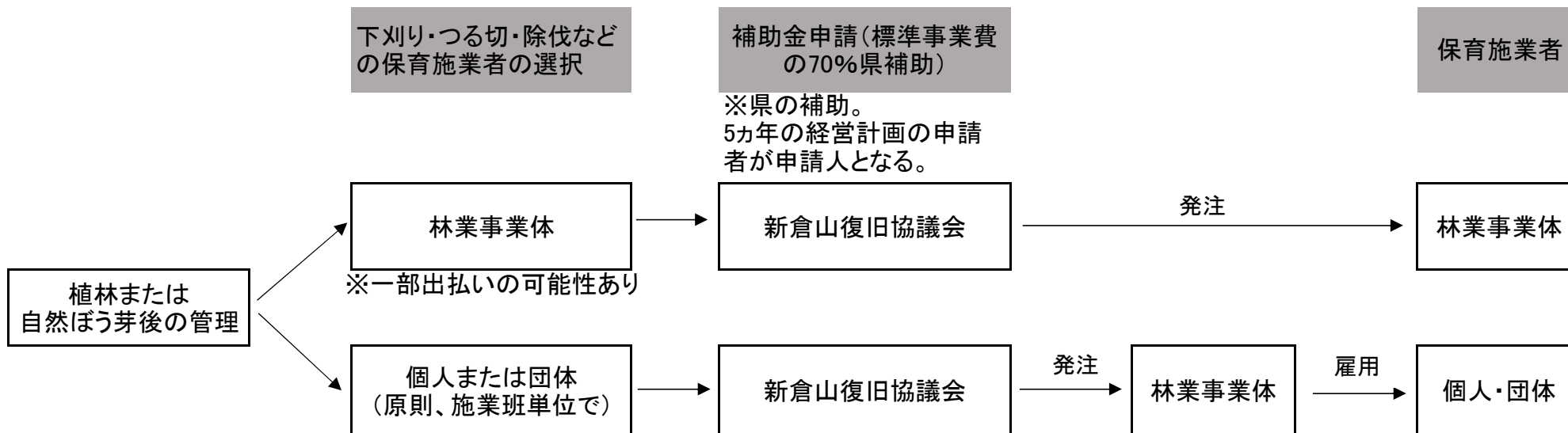
(イ) 復旧方針について (施業者の選択・・・植林施業)

資料⑤-1



(イ) 復旧方針について(施業者の選択・・・保育施業)

資料⑤-2



下刈り・つる切・除伐などの
保育施業者の選択

補助金申請(標準事業費
の70%県補助)

保育施業者

※県の補助。
5カ年の経営計画の申請
者が申請人となる。

●標準事業費の目安(樹齢、密度などにより変動)

下刈り:15万円~20万円/ha
つる切:4万円~10万円/ha
除伐:約19万円/ha

●保育施業の頻度

下刈り:3~7年まで年1回程
つる切:下刈り終了後必要に応じて2~3回
除伐:下刈り終了後3~6年の間に1回

新倉山復旧協議会 復旧方針案
 植林施業：全部業者委託
 保育施業：団体有林の場合は各団体の出払い作業で実施
 (ただし新倉山復旧協議会が業者委託をし、請負業者と各団体が雇用形態をとる)
 個人有林の場合は全部業者委託